

特集 「社会を生き抜く力と希望をはぐくむ教育の推進」

—— 英語教育研究開発モデル校 ——

豊かな人間性と自己表現力を育てる

～自分の思いや考えを豊かに表現し伝え合う力の育成
グローバル・スタディを通して～



中央区 与野南小学校 教諭 森山 勇生

1 はじめに

本校はさいたま市のほぼ中心に位置し、学級数9（1～2年各2、3～6年各1、特別支援1）、児童数218名の「小規模校」である。平成27年度から英語教育研究開発モデル校の指定を受け、本年度より学校課題研究としてもグローバル・スタディに取り組んでいる。これまでの研究でカリキュラムの工夫改善や評価計画、振り返りカードを作成し、実践してきた。

単元を始める前に、ALTと打合せを行い（高学年はESも）、その単元で必要なスキル（アイコンタクトやクリアボイス、協力性、人間関係、アルファベットなど）を細かく設定し、毎時間どのスキルが必要か、どのように評価するかを決め、下記のような一覧表にまとめ、授業に臨んでいる。

2 研究の概要

(1) 目指す児童像

- ①英語で、主体的にコミュニケーションを図ろうとする子
- ②日本と外国のよさや違いに気付き、多様なものの見方ができる子

上記の二点を学校としての目指す児童像に設定し、これらを受けて低中高学年ブロック毎に、具体的な目指す児童像を設定している。

(2) 研究の仮説

学習過程に自分の考えを表現できるような活動・場面を効果的に取り入れ、自身の伸びやよさを実感できる評価の工夫を積み重ねていけば、自分の思いや考えを豊かに表現し、伝え合う力をもった児童が育成できるであろう。

上記の仮説に対し、【視点1】として指導方法の工夫改善、【視点2】として評価の工夫改善とし、具体的な手立てを挙げて研究に取り組んでいる。

(3) 具体的な取組

<単元指導計画表>

Lesson / 単元	Learning Objectives / 学習目標	Skills to Develop / 育成するスキル	Assessment Criteria / 評価基準
Unit 1 挨拶の練習 Hello, My name is... How are you? I am fine, thank you.	【視能知】 挨拶の練習を通して、相手の名前や自己紹介の仕方を知り、自分も挨拶ができるようになる。	アイコンタクト クリアボイス 協力性	A: The student tries to greet others properly, introduces and talk about himself/herself willingly while making eye contact. B: The student tries to greet others, introduces and talk about himself/herself without making eye contact at all. C: The student tries to greet others, introduces and talk about himself/herself without making eye contact at all. (The student does not fully write his/her name using big and small letters.)
Unit 2 自己紹介の練習 My name is... I like... I don't like...	【視能知】 自己紹介の練習を通して、自分の好きなことや嫌いなことを表現できるようになる。	アイコンタクト クリアボイス 協力性	A: The student can write his/her name using big and small letters appropriately. (The student can write his/her name using big and small letters.) B: The student can write his/her name using big and small letters. (The student can write his/her name using big and small letters.) C: The student cannot fully write his/her name using big and small letters. (The student does not fully write his/her name using big and small letters.)
Unit 3 自己紹介の練習 My name is... I like... I don't like...	【視能知】 自己紹介の練習を通して、自分の好きなことや嫌いなことを表現できるようになる。	アイコンタクト クリアボイス 協力性	A: The student shows interest in his/her own (big) name as well as in others' (big). B: The student shows a bit of interest in his/her own (big) name as well as in others' (big). C: The student does not willingly show interest in his/her own (big) name as well as in others' (big).

右半分では、毎時間の評価規準をABCそれぞれ文章で示し、その規準に従って評価をしている。評価規準が英語と日本語で併記されているので、日本語があまり得意ではないALTでも授業について担任との共通理解を図ることができる。

3 成果と課題

児童アンケートから、英語に対する児童の興味・関心は高まり、授業にも積極的に取り組むようになった。児童像①の評価については単元指導計画表の中に位置付けることができた。また、スキルを明確に設定することで、どこを評価するかがはっきりし、評価しやすくなった。来年度に向け、児童像②にどのようにせまるか、さらに研究を進めていきたい。